

大宜味



巳年生まれの小学生

蛇のようにしなやかに 未来へ進もう!

撮影日: 12月10日(火)
撮影場所: 大宜味小学校



2025(令和7)年 議長年頭あいさつ

2025(令和7)年 村長年頭あいさつ

迎春

令和七年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に、石川県能登地方を中心に甚大な被害をもたらした「令和六年能登半島地震」、復興に向けて一歩ずつ進んでいるなかでの集中豪雨災害により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されて困難な生活をされておられる方々にお見舞い申し上げます、一日もはやい復興を願います。

本村においても十一月に発生した豪雨災害は、北部三村に大量の降水をもたらし、村全域で甚大な被害を受けました。豪雨災害によって家屋の崩壊や床上浸水等、被災されました皆様に対しお見舞い申し上げます。

また、災害に際しまして多くの義援金、心温まる支援物資を提供してくださりました個人、企業、自治体の方々によりお礼申し上げます。

議会では、執行部と一体となって被災者の支援や農地や農業施設、林道等の復旧等を推進し、一日も早い復旧に向けて取り組んでまいります。

昨年は災害の多い暗い一年でしたが大宜味村では小学校において西日本読書感想画コンクールで県代表として出品(六年・ソフトテニスの県外派遣・ミニバスケット・野球等、中学校においては県中学校陸上大会において、男子走り幅跳び(一年)・走り高跳び(三年)で一位、男子砲丸投げ(二年・三位)、ソフトテニスは富山杯で優勝し九州大会出場等。高校生においては、大宜味中学校出身の名護高校男子ラグビーで県大会において優勝し全国大会出場、女子ソフトテニスペアで県総合体育大会において優勝、二連覇達成しインターハイ出場、北山高校駅伝においても全国大会出場と明るいニュースもいっぱいありました。児童生徒の活躍に健闘を称えます。

コロナ禍により、開催できなかった意見交換会を今回、初めて各種団体と開催しました。意見交換では、課題、議会への要望など、大変貴重なご意見やご提言をいただくことができました。久しぶりの開催となりましたが、改めて、議会としての広聴活動の重要性を認識することができました。

今後も皆様からいただきました声を議会活動に反映してまいりたいと考えております。議会は、村民の皆様に取り添った身近な存在でなければなりません。時代の変革を的確に捉え、村政の最終決定機関として、また主権者である村民の皆様によりしっかりと責任を果たしてまいります。

二元代表制の一翼を担う議会がその機能を十分に発揮し、執行機関を監視・評価し、村民の声を村政に的確に反映させてまいります。

議員一丸となって期待に応えるべく、最大限の努力を傾注してまいりますので、更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、今年一年が平和で幸多き年になりますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和七年 一月一日

大宜味村議会議長 大城 佐一

二〇二五年 巳年 新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたこと心からお慶び申し上げます、ご多幸とご健勝をお祈りいたします。

まず始めに、昨年十一月九日未明から十日にかけて、記録的な豪雨により被災されました村民及び県民に対し、心からお見舞い申し上げます。一刻も早く日常の暮らしがとり戻せますよう国、県等とも連携を図りながら鋭意取り組んでいるところでございます。

今回の豪雨により、本村のインフラはかつてない大きな被害を受けました。津波浄水場が被災し、浄水機能の停止により村全域への送水が行えず広域的な断水となり、村民に長時間にわたり不便な生活を余儀なくされましたことに対しお詫び申し上げます。また、被害は、家屋、道路、河川、農畜産関係、車両など、広範に及んでおります。本村といいたしましても、被災者の支援及びインフラの早期完全復旧に向け取り組んでおります。

なお、この度は本災害に際し、復旧・復興支援のため県内各地の事業所、団体、個人等から心温まる義援金をいただき、誠にありがとうございました。

想定できなかった今回の災害を教訓に、防災・減災に取り組む災害に強い村づくりに一層努めてまいります。

つぎに、昨年の村政運営を振り返ってみますと、大きな出来事としてまず、二月には四年ぶりとなります「体験の翼」交流団による西会津訪問を行うことが出来ました。ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により制限がありましたが、昨年は各地域の豊年祭も開催されるなど、以前のような活気が村に戻った一年となりました。

四月からは、子育てできる環境の整備として、小学生及び中学生の学校給食費の完全無償化がスタートしました。今後もこれまでに子育て支援の充実を図ってまいります。また、同じく四月には一年半不在となっておりました副村長が就任し、執行体制が整いました。

また、移住・定住・交流の促進として取り組んでおりました空家改修事業による定住希望者の受け入れを開始しており、本年度以降も継続して人口の増につながる施策を推進してまいります。その他、世界自然遺産登録地域として国立自然史博物館の誘致に向け動き始めたところであり、今後は誘致への展開を広げていきます。

複雑多様化する行政需要に対し、限られた財源と職員で、引き続き精一杯尽力し、日々刻々と変化する社会情勢を的確に捉えながら、「内外に誇れる輝く村」づくりに一層取り組んでまいりますので、これまで同様、村民皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様におかれましては、実り多い輝かしい年になりますよう祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。

令和七年 一月一日

大宜味村長 友寄 景善



5年ぶりのウガンパリー



富山杯で優勝した中学男子ソフトテニス部



各団体から取りまとめた意見を議会から村長へ



4年ぶりに西会津町へ



日本郵便との覚書き締結式



芭蕉布展

2024年大宜味村

「喜如嘉の芭蕉布」文化財指定&「喜如嘉の芭蕉布保存会」結成50周年



今年は「喜如嘉の芭蕉布」が国指定重要無形文化財に指定されたことと「喜如嘉の芭蕉布保存会」が結成されて50周年を迎え、それを記念して沖縄県立博物館・美術館にて10月1日より芭蕉布展が開催されました。村内で保存されていた芭蕉布を始め、県内外から集められた芭蕉布が展示され、それぞれの時代や場所での芭蕉布を取り巻く文化を感じられる催しとなりました。また、11月14日には、沖縄県庁にて今年度の県文化功労者表彰式典が開催され、文化財保護の観点から「喜如嘉の芭蕉布保存会」が表彰を受けました。



小中学生、文化面で活躍



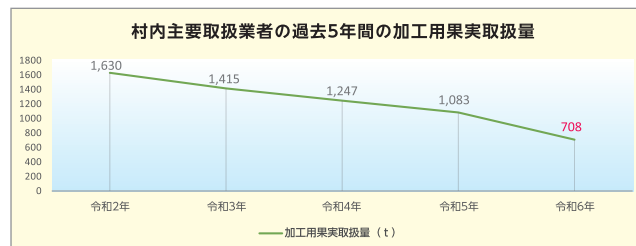
10月5日、令和6年度STOP!ロードキル月間企画「ヤンバルワイナと希少動物たちを守ろう」絵画コンクールの表彰式が行われました。やんばる3村の小中学生が作成した作品93点のうち、7名の受賞者が表彰され、そのうち大宜味小からは、最優秀賞を受賞した宮城珠依さん(6年生)を含む5名が入賞しました。また、11月22日には沖縄県全島緑化県民運動ポスター原画コンクールの表彰式が行われ、上地笑子さん(大中2年生)が最優秀賞を受賞しました。

学校給食費の無償化がスタート



今年度4月より村主要施策のひとつで、栄養バランスに配慮した安全で安心な提供に努めるとともに、昨今の物価高騰による保護者の経済的負担軽減を図ることを目的に、児童生徒(小学生134名、中学生70名)の給食費無償化が始まりました。

シーワーカーの出荷量、過去最低



村の特産品であるシーワーカーの出荷量は、年々減少傾向にあり、今年度の出荷量は12月20日時点で過去最低値を下回る数字となりました。シーワーカーの生産は村の産業振興を担う基幹産業の一つである為、生産量の安定化は今後の課題となるでしょう。

村関係者、沖縄タイムス賞受賞



7月1日にザ・ナハテラスにて、沖縄タイムス賞贈呈式が行われ、文化部門「写真を通して戦後沖縄の実相を県内に発信した功績」で根路路出身の石川真生氏、体育部門「県内バスケットボールの競技力向上と後継者育成に貢献」で安里幸男氏の2人が沖縄タイムス賞正賞を受賞しました。また、令和3年度に村と包括連携協定を結んだ吉本ホールディングス株式会社元会長の大崎洋氏に「国際映画祭を通して沖縄の観光振興に貢献」したとして、感謝状が贈られました。

10大ニュース



11月北部豪雨による爪痕



11月9日～10日にかけて発生した線状降水帯により、北部地域を突如襲った豪雨は、村内に大きな被害をもたらしました。津波浄水場が床上浸水したことによる村内で5日間断水が続き、村内各地で給水活動が行われました。また、大雨による地すべり・道路陥落も発生、また各集落内でも大雨による影響が出ており、大雨の恐ろしさを痛感しました。



村内出身高校生・大学生も活躍中!



6月2日～3日にかけて行われた高校総体ソフトテニス女子の部では、名護高校の福地美楽性さんが、ペアの濱川詩友さんと共に2冠を達成しました。また、6月22日～23日には、2024年成年男子ソフトテニス国体最終選考会にて、村出身の福地想楽さん、花田悠馬さんの2名が選出され、国体(国民スポーツ大会)に出場しました。12月27日には、全国高校ラグビーフットボール大会(通称花園)に3年連続出場を果たした名護高校には、3年生の連続宮城琉一斗さんをはじめ、村出身者が多く在籍しており、今後の活躍に期待が高まります。

小中学生ソフトテニス部の快進撃



小学生・中学生ソフトテニス部が、今年も大活躍しました。ジュニア(小学生)では、前田菜雪さん(6年生)が5月～8月に開催された3つの県予選大会で優勝を飾り、県外の大会に出場しました。また、中学生男子ソフトテニス部は、11月に開催された第52回富山堅一杯沖縄県中学校ソフトテニス大会で、2年生一人、1年生6名と、上級生のいる相手チームにも屈することなく、見事優勝を飾りました。

「健康医療アワード賞」受賞の報告



11月6日、株式会社丸海きあら(代表取締役社長:山川美代子)は、村商工会宮城弘隆会長と共に、(一社)日本健康医療学会が主催する「第11回健康医療アワード賞」受賞の報告を村長室にて行いました。健康アワード賞は、健康医療に役立つと思われるおよそ3,000のアイテムの中から5品目が選考されその一つに選ばれたものとなっています。今回受賞したアイテムは、「月桃はみがき」で、本社・工場を大宜味村字押川に所在。

大宜味村移住定住促進事業



大宜味村では令和5年度に村内にある空き家を改修して移住定住促進住宅として活用する取組を行い、今年度は、空き家の所有者や移住定住促進住宅の入居希望者等を対象に空き家の内覧会を実施、その後入居者募集を行いました。また併せて同時期に移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例も制定しており、人口目標の達成や地域コミュニティの維持及び移住・定住の改善を図ることを目的としています。

令和6年(2024年) 大宜味村むらづくり応援寄附

11月寄附金分使途内訳	件数	金額
産業の振興に関する事業	469件	7,848,000円
保健・福祉の充実に関する事業	240件	3,845,000円
教育・歴史文化の振興に関する事業	369件	5,759,000円
生活環境の整備に関する事業	594件	8,478,000円
大宜味村の豊かな自然環境及び世界自然遺産の保全と活用に関する事業	611件	9,955,000円
その他大宜味村を元気にする為に必要な事業	404件	6,812,000円
令和6年11月豪雨被害支援緊急寄附	340件	4,429,393円

11月分 3,027件／47,126,393円 累計(1～11月) 16,813件／265,671,393円

県内外より本村にご寄附頂き心より感謝申し上げます。



村の人回 11月末現在

男 1,554人(－4)
女 1,368人(－3)
計 2,922人(－7)

【世帯数】1,705世帯(－3)
【出生】2人 【転入】9人
【死亡】3人 【転出】15人

※()内数は対前月比

1月生まれ

満1歳お誕生日おめでとう★

ゆいり

松本 結梨ちゃん(根路銘)

タンカー祝い

あさいち

渡久山 朝一くん(津波)

沖縄県最低賃金は
令和6年10月9日から
「952円」(時間額)となります。

必ずチェック!最低賃金!
働く人と雇う人のためのルールです!

詳しくは沖縄県労働局のHPをチェック

【訂正とお詫び】 12月1日発行の広報「大宜味」12月号(No.547)4ページに、訂正箇所がございますのでお詫び申し上げます。今後、同様の間違いがないよう努めて参ります。
広報「大宜味」12月号について ○4ページ/教育長任期にて 【誤】令和6年11月9日～令和9年11月8日→【正】令和6年11月10日～令和9年11月9日

1月 January February 大宜味村カレンダー

1 水	◆元旦	22 水	
2 木		23 木	◆定例教育委員会会議
3 金		24 金	
4 土	◆二十歳の集い	25 土	◆村産業まつり ～26日 ◆泉とオーバーのよんな～笑って介GO ～
5 日		26 日	
6 月	◆官公庁仕事初め	27 月	
7 火	◆新春の集い ◆新春の集い ◆区長会	28 火	
8 水	◆国頭地区消防出初式	29 水	◆旧正月
9 木		30 木	
10 金		31 金	
11 土		2月	
12 日	◆かりゆし芸能移動公演 大宜味公演	1 土	
13 月	◆成人の日	2 日	◆小中一斉授業参観 ◆(中)親子もちつき大会
14 火	◆(中3)三者面談 ～16日	3 月	◆小中振替休日 ◆(園)個別面談 ～7日 ◆区長会
15 水		4 火	◆(中)新入生保護者説明会
16 木		5 水	
17 金		6 木	
18 土	◆わんぱく体験団⑥	7 金	◆「体験の翼」冬季交流 ～10日
19 日	◆県PTA研究大会(名護市)	8 土	◆国頭地区ミニバスケット交歓会 ～9日・15日
20 月		9 日	
21 火		10 月	

2025年農林業センサスにご協力ください

令和7年2月1日現在で、全国一斉に“農林業の国勢調査”といわれる「2025年農林業センサス」が実施されます。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために5年ごとに実施される極めて大切な調査です。令和7年1月中旬から農林業を営んでいる皆様のごところに調査員が訪問して、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いしますので、ご協力をお願いします。



お問い合わせ先 大宜味村企画観光課
☎0980-44-3007

住民福祉課住民係からのお知らせ

政府広報 | 厚生労働省 あしたの暮らしをわかりやすく

まだ、マイナ保険証をお持ちでなくても、

これまでどおりの
医療を、あなたに。



今年の12月2日に、現行の健康保険証は新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行します。切り替えがまだお済みでない方も申請不要で届けられる資格確認書で保険診療を受けられます。ご安心ください。また、今お持ちの保険証は、有効期限まで最大1年間、利用できます。有効期限が切れる場合でも、必要な方には資格確認書が交付されます。

マイナ保険証をお持ちでない方 申請不要で 資格確認書をお届けします。

新たに後期高齢者になった方 申請不要で 資格確認書をお届けします。
※来年7月末まで

マイナ保険証での受診が困難な方 (に高齢の方・障害をお持ちの方など) 申請いただくことで 資格確認書をお届けします。

さらに詳しい情報ははこちらから検索

政府広報 マイナ保険証



お問い合わせ先 大宜味村住民福祉課(住民係)
☎0980-44-3003

高血圧予防教室のご案内



村民の方を対象に高血圧予防教室を開催します。日本で最も患者数の多い病気と言われている“高血圧”。「正常な血圧値ってどのくらい?」「血圧が高いと何が悪いの?どうなるの?」など普段感じている疑問について、一緒に学びませんか?たくさんのご参加をお待ちしています。
日時 令和6年2月3日(月) 午後2時～午後4時
場所 大宜味村農村環境改善センター 2階ホール
*参加を希望される方は、令和7年1月27日(月)までに住民福祉課へご連絡ください。

お問い合わせ先 大宜味村住民福祉課(保健衛生係)
☎0980-44-3003

動画を視聴して年金について学ぼう!!

将来の被保険者・受給権者である若年層を対象に、適切な年金知識の提供と理解を推進することを目的として、公的年金制度の周知用動画を作成しています。動画は日本年金機構ホームページに掲載しています。

《動画の視聴方法について》

①パソコンの場合

日本年金機構ホームページよりご視聴ください。

年金について学ぼう

検索



②スマートフォンの場合

掲載されているQRコードを読み取り、ご視聴ください。



お問い合わせ先 大宜味村住民福祉課(国保年金係)
☎0980-44-3003

やんばるアートフェスティバル2024-2025 ～山原本然～

大宜味村立旧塩屋小学校をメイン会場に、沖縄県北部地域で1月18日(土)から2月24日(月・祝)まで「やんばるアートフェスティバル2024-2025 山原本然」(主催 やんばるアートフェスティバル実行委員会)が開催されます。

入場料 一般 500円 高校生以下無料／沖縄県内在住者 300円

開催時間 11:00～17:00 休館 毎週 火曜・水曜



お問い合わせ先 やんばるアートフェスティバル実行委員会 ☎098-861-5141



村内あれこれ

「子ども議会」開催!

11月24日(金)、大宜味村議会議場において、「こども議会」が開催されました。大宜味中学校生より選出された代表11名が議員となり、一般質問を村行政へ行いました。一般質問では、「大宜味村内の街灯整備について」「ビジターセンター周辺の整備について」「大宜味村の雇用状況について」など昨年同様の質問のほかに、「カーブミラーの設置について」や「大雨時の結の浜地域道路冠水について」など新規の質問も上がりました。

※一般質問や答弁の内容については、後日、発行予定の冊子にてご確認ください。



HONEN Fes×芸術縁日開催!

12月7日(土)に、旧喜如嘉小学校体育館にて、HONEN Fes!!!×芸術縁日(主催:HONEN Fes!!!実行委員会)が開催されました。「豊年祭をその先へ」をテーマに、やんばる地域在住の若者たちで実行委員会を立ち上げ、実際に豊年祭で披露された演目やファッションショー、地元高校生によるダンス、獅子舞など、近代と伝統が融合された独創的なステージイベントで会場は大盛り上がりを見せました。(写真提供:株式会社スマイルフォトプラス)



編集・発行／大宜味村企画観光課
〒905-1392 沖縄県大宜味村字大兼久157番地
TEL.0980-44-3007 FAX.0980-44-3139

喜如嘉区において移住に関する取組の一環で集落点検ワークショップを実施!



12月13日(金)、喜如嘉公民館において、移住定住に関する事業の一環として集落点検ワークショップを開催しました。喜如嘉区在住の方やスタッフ等総勢30名の参加があり、喜如嘉区の現在住んでいる年代層を把握し、10年後の将来予想される状況を話し合い、喜如嘉区の行事や地域活動を維持していくためにも、どのような方に移住してほしいかを考える良い機会となりました。

村内初 企業版ふるさと納税の活用



大宜味村では初となる企業版のふるさと納税制度を活用して、12月17日(火)に、役場2階応接室にて、寄附物品贈呈が行われました。

物品を贈呈して下さった株式会社沖縄アロエ 代表取締役 湧川武史氏は、「大宜味村産のシークワサーを取り扱っており、いつか大宜味村に還元できればと思い、今回の制度を活用させていただきました。」というをつづり、災害時にも活用できる大容量バッテリー(蓄電池)とソーラーパネルをご提供頂きました。